



# 沓掛小学校だより

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

6月号

NO. 590

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

## 土曜授業について

校長 鈴木 祐一

入学式から2ヶ月が過ぎ、1学期の折り返しの6月になりました。これまでに、1年生から4年生までは、天候に恵まれて遠足に行きました。また、6年生は先日、弓ヶ浜移動教室に行ってきました。どの学年でも、校外学習では「めあて（目標）」を掲げて活動しています。6年生の移動教室では、「自覚と責任をもって自主的に行動し、集団の中で人との絆を深めよう」がめあてでした。出発式では、自然の中で学校ではできない体験学習をする大切さやあいさつ、あつまり、あとしまつについて話をしました。子供たちは自分たちが決めためあてを自覚し、沓掛小の6年生として行動することができました。子供は教科指導の他に、行事を通して友達と協力していくことを学んでいきます。そのためには自分のすべきことを理解して行動しなければなりません。私は、その過程や経過を褒めることを念頭に置いています。子供のうちから「経過」を重視し、努力を重ねさせたいと思っています。そしてその活動を通して、達成感、充実感を味わわせたいと考えています。

さて、今月は土曜授業と前日の金曜日に学校公開を行います。保護者・地域の皆様は「土曜授業」は当たり前のように受けてきたと思います。平成の時代になり、「詰め込み教育」の見直しから、月に一回、隔週で土曜日が休みになり、平成14年度から学校週五日制になりました。平成の当初からこの頃にかけて「ゆとり教育」が基盤となりました。しかし、国際的な学力調査等の結果から学力の低下傾向が指摘され、ゆとり教育そのものが問われるようになり、10年の区切りもあり、平成25年から「土曜授業」を行う学校が見られるようになりました。

しかし、土曜授業は、昭和の時代の単なる授業を増やす「詰め込み」では時代に逆行します。土曜日ならではメリットを考慮して考えられたのが、「かかわり・つながり」を重視した土曜授業です。教科指導の他に地域の方に協力していただき、体験的な活動を展開するようになっています。活動によっては、保護者の方に協力を求めることも多くなるかもしれません。杉並区では土曜授業を契機に、土曜日の教育活動を工夫しています。今回の学習指導要領改訂の一つである「社会に開かれた教育課程」の一場面であると認識しています。土曜授業を通して、地域連携をもとに、保護者・地域との更なる信頼関係が構築されたいと考えます。

詳しくは後日お知らせしますが、6月の学校公開・土曜授業では、講談師を招いての鑑賞会・劇団「四季」の方による美しい日本語教室・車椅子体験等の障害理解を深める学習・東京都水道局による「水道キャラバン」・ICTを活用した授業も公開する予定です。

また本校では、学校支援本部の方が6月16日に図工教室、10月20日に囲碁教室、来年の2月23日にユニカール（床上のカーリング）を「夢企画土曜日学校」として企画して下さっています。

本校は、この他にも学校支援本部を中心に、PTA、地域、関係団体の方に協力していただいている授業を多く行っています。多くの皆様に御参観・御参加していただければと思います。